公益財団法人　新教育者連盟
令和７年度(令和７年７月～８年６月)事業計画

<はじめに>

新教育者連盟は、谷口雅春先生が昭和５年３月に「生命の実相哲学」を発表する個人月刊誌を創刊され、更に昭和10年に『生命の教育』誌を発刊されたことにはじまります。

大東亜戦争後の占領解除直後の昭和28年には「新教育者連盟」が任意団体として設立され、全国的な「生命の教育」の普及活動が組織的に始まりました。

数多くの会員や協力者などのまことにも献身的なご活躍とご尽力により、多くの青少年にその抱える問題を克服し才能を開発して有為な人生を歩ませるとともに、国家的社会的な課題に貢献をする青年達をも輩出してきています。

新教育者連盟は創立70周年を経て、令和７年には『生命の教育』誌発刊90年、「生命の実相哲学」を伝える月刊誌が発刊されて95年を迎えました。

この記念すべき年に当たり、新教育者連盟の発行する月刊『生命の教育』誌は、新しい理念の教育誌として生まれ変わり再出発します。国家危急の時に「生命の実相哲学」が誕生して日本国を導いた発祥の原点に立ち返り、名実ともに日本国の教育の目標実現のために貢献する団体として、力強い歩みを再出発いたします。とりわけ、教育基本法に「教育の目標」として明示されている、伝統文化を尊重し、わが国や郷土を愛する心と態度を養う目標実現に貢献しようとするものです。

それら国家社会の公益に寄与する事業を展開する新教育者連盟の財政基盤を拡充することは不可欠です。そのために、『生命の教育』誌の購読・普及をする人々を拡大するとともに、従来の「生命の教育献資」を「新教育者連盟応援会費」とあらためて意義を明確にし、一層広く協賛を募ることとします。

これにより、来るべき時代を担う子供達や青少年の自尊感情(自己肯定感)を高めて健全に育て、夢広がる力強い日本の国を持ち来すべく、公益に尽くします。

《事業計画》

１、会場・拠点の拡充（講座、セミナー、育成）

「生命の教育」を学び実践し普及するための会場・拠点を一層活発にするとともに、新たな会場・拠点(支部)の開設に力を注ぐ。(母親教室(お母さん教室)・子供寺子屋(生命学園)・座談会・学習会・講演会等）

とりわけ、我が国の将来を担う次世代を育てる子供寺子屋(生命学園)を増やす。一方、少子化対策・子供の居場所作り等に貢献するため、子供達を産み育てる母親・父親・家庭の大切さを見直し、健全な心身の子供を育てる母親教室(お母さん教室)を増やす。

２、新『生命の教育』誌を通して「生命の教育法」を学び広める

『生命の教育』誌発刊90年にあたり、『生命の教育』誌は新生する。この刷新は、生命の

教育法を学び実践・体験した喜びをもしっかりと伝え、国家社会の公益に尽くす使命を明らかにするためのものである。

そのために、『生命の教育』誌を充実するとともに、『生命の教育』誌をテキストに行事を開催するなどして、『生命の教育』誌購読者の200名増加を目指す。日本の心である伝統と文化を学び実践・体験して伝える老若男女の教育法を広く掲載し、広く国家社会に貢献する。

３、「生命の教育」を深く学び自ら推進する主体者を拡充する。

「生命の教育」の根幹となるものは谷口雅春「生命の実相哲学」である。日本の教育を救い復興する原理である。この画期的教育法は、受身的に学ぶだけでは、後世に受け継がれて行かない。自ら主体者となって推進して始めて受け継がれゆく。これら主体者の養成に力を入れる。

４．家庭教育相談・子育て相談の実施

家庭教育相談・子育て相談を一層活発に実施する。

現代の我が国において、家庭教育・子育てに関する課題を抱える親・保護者は多い。それらの方々に、「生命の実相哲学」に基づく教育は大いなる力になり、当公益法人の重要な使命と考える。

５．実力ある講師の養成

新教連教育アドバイザー養成課程、新教連子育てサポーター養成課程を開催し、「生命の実相哲学」に基づく教育「生命の教育」を伝えて国家社会に貢献する教育アドバイザー、子育てサポーターを養成する。

また、他団体(地方自治体や学校等の教育機関などを含む)に、ふさわしい「新教連特任講師」「新教連教育アドバイザー」を派遣する。

６、教材資料の拡充

令和６年度、生命の教育を伝える教材資料として、紙芝居「古事記神話」全８幕が完成した。

今年度は、更に『生命の子供』誌『生命の教育』誌から類纂した、新たな教材資料の刊行を行う。

更に、教育基本法の明示する日本の伝統文化の尊重し我が国と郷土を愛する心と態度を養うに適した、伝統文化の根幹である「古事記神話」をわかりやすく説いた紙芝居を教材資料としてあらゆる場で一層活用頂けるよう、普及に努める。

７．情報通信技術(ICT)の活用

若い世代に「生命の教育」学習・実践の機会を広く提供する。

そのため、新教育者連盟公式YouTubeチャンネル等々を活用し、内容を更に充実させるとともに、制作協力体制も充実させる。

８、財政基盤の確立による新教育者連盟運動の永続化

「生命の教育」の実践・普及活動を今後も継続的に展開するためには、どうしても財政基盤が必要である。

そのため、従来の「生命の教育献資」を改めて意義を明確にするため「新教育者連盟応援会費」として、250口増加をめざして推進する。

また、「生命の実相哲学」に基づいた健全な生命観や国家観を受け継ぐ若い人材確保のための寄附である「特別指定寄附」を引き続き推進する。(一括・分割・遺贈による寄附を含む)

８、全国研修会・支部長会の開催

「生命の教育」の実践・普及活動を第一線で展開している各地の会員・協力者・支部役員、及び「生命の教育」を学びたい人々が一同に会し、研修を受け、情報を共有し、更に国家社会に貢献する志を固め高める場として、新教育者連盟全国研修会を開催する。

併せて支部長会を開催する。

（令和８年６月20日[土]研修会・21日[日]支部長会）

《令和７年度　行事日程》

１、理事会

令和７年８月30日(土)　令和６年度決算･事業報告

令和７年11月23日(日)　感謝の集い終了後　於本住吉神社

令和８年２月14日(土)　翌年度事業計画骨子・主要行事予定決定

令和８年５月16日(土)　翌年度事業計画決定

令和８年６月21日(日)　支部長会終了後　令和8年度予算の決定

(令和８年度の行事)

令和８年８月29日(土)　令和７年度決算･事業報告

２　評議員会

令和７年９月23日(祝･火)　令和６年度事業報告･決算

※(令和８年度行事)

令和８年９月23日(祝､水)令和７年度事業報告･決算

３　全国研修会

令和８年６月20日(土)

４　支部長会

令和８年６月21日(日)　相互情報共有・懇談

５　感謝祭・感謝の集い

令和７年　7/22(火)､8/22(金)､9/22(月)､10/22(水)､11/23(日)感謝の集い､12/22(月)､

令和８年　1/22(木)､2/22(日)､3/16(月)､4/22(水)､5/22(金)､6/22(月)､